

最新MRI装置導入のお知らせ

5月9日より最新MRI(磁気共鳴断層撮影)装置が稼働を始めました。
新装置導入のための工事期間中には皆様にご迷惑をおかけしました。

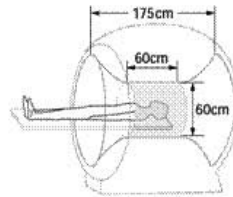
今回、導入した最新MRIはメリットを進化させ、デメリットを軽減、
人と環境に「やさしいMRI」を目指しています。

導入機種: フィリップス社製 Achieva 1.5T (RFレシーバー32c)

MRIのメリット	MRIのデメリット
<ul style="list-style-type: none"> 放射線被曝の心配がありません。 多方向断面画像を撮像することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査時に大きな音がします。(磁場を変化させるため) トンネルに入るため圧迫感を感じる事があります。

や 約半分になりました!

- 高速撮像と学習機能を備えたシステムにより検査時間が約半分に短縮しました。
- トンネルの長さが以前よりも約半分になり圧迫感が軽減されました。

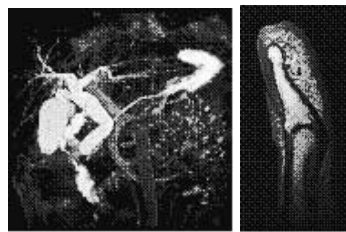


さ サウンドが聴けます!

- 頭の検査でもヘッドフォンを利用でき、お手持ちのi-podやUSBプレーヤーで音楽を聴きながら検査することができます。

し システムは最新鋭!

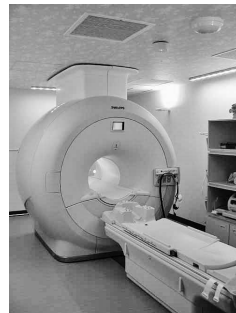
- 体動補正機能により、多少動いてもブレのない鮮明な画像が得られます。
- マイクロコピーコイルにより今まで写す事が出来なかった微細な病変を描出する事が可能です!
- 消費電力が軽減し、節電に貢献しています。
- 最大撮像視野が53cmと広範囲になり、今までよりも1度に多くの情報を画像にすることができます。(※1.5テスラの中でも最大!)



(胆のう) (指)

い 今までより更に充実!

- 空を思わせるような天井とLEDの照明により落ち着いた検査が受けられる環境を作りました。
- 待合室が広くなりました。



※1.5テスラは、現在もっとも広く普及しており、全身領域において安定した画像を得られる磁場のクラスで、同クラスの中でも最上位機種を導入しました。

(文責: 放射線課 課長 田沢 範康)

聖隷沼津病院の片隅から…つぶやく検査技師④

「食中毒とは」

毎年のようにテレビや新聞などでも騒がれますが、食中毒とは食中毒の原因となる細菌やウイルスが付着した食品や、有毒・有害な物質が含まれた食品を食べる事によって、腹痛・下痢などの健康被害が起こることです。

食中毒は原因によって細菌性・ウイルス性・化学性・自然毒に分けられますが、1番多いものは細菌性です。一年中発生することはありますが、これからの梅雨から初秋にかけてが1番多い季節です。なぜなら温度や湿度が細菌の増殖に適しているからです。

食中毒を予防するための3原則

- 1. 細菌をつけない!**
細菌が手や調理器具を介して食品に付着することがあります。こまめに手・まな板・包丁を洗い、肉・魚・野菜で分けて扱きましょう。
- 2. 細菌を増やさない!**
細菌は室温で急激に増えます。食品は冷蔵・冷凍庫などで冷やして保存しましょう。また、増えないだけで細菌は生きていますので、室温解凍はやめて冷蔵庫や電子レンジで解凍しましょう。作った料理も早く食べましょう。
- 3. 細菌をやっつける!**
ほとんどの細菌は熱に弱いので十分加熱しましょう。食品の中心部が75℃以上になるよう1分以上加熱しましょう。



サルモネラ



大腸菌



ボツウ球菌

これから梅雨に入り、暑くなってきます。食中毒の増える季節を迎えます。食品の保存には十分に注意しましょう。

(文責: 検査課 山岸 薫)

血糖・HbA1cが高め…(糖尿病)

コレステロール・中性脂肪が高め

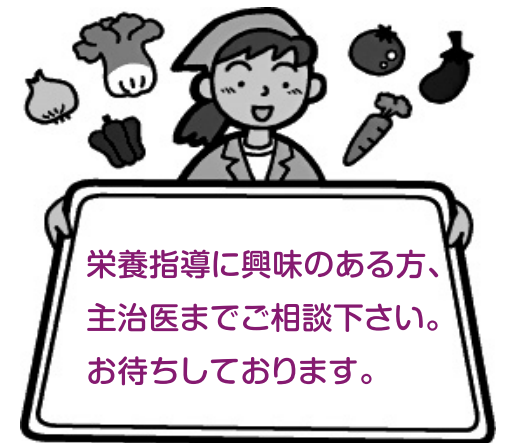
…(脂質異常症)



血圧が高め…(高血圧症) などの方…

栄養指導を受けてみませんか?

当院には栄養のスペシャリストである管理栄養士が6人います。
患者様から個別にお話を聞き、普段の食生活の中から良い点・改善点を見つけ、疾病改善に向けアドバイスを行っております。
食事は毎日のこと、生活の基本です。
栄養指導は今まで気づかなかったご自分の食生活を見直すチャンスです。



(文責: 栄養管理課 鈴木 あずさ)

当院は敷地内全面禁煙です。
ご理解・ご協力をお願いします。